MSD43-42006/ 7
リヤスパッツ

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ リヤスパッツをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD43-42006-A1	プラチナホワイトパールマイカ（089）	RAV4	
MSD43-42006-C0	アティチュードブラックマイカ（218）		
MSD43-42007-NP	未塗装品		

・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧下さい。https://www.modellista.co.jp/

■構成部品

No.	部品名	数量	品番	備考
①	リヤスパッツ RH	1	MSD43-42H05-NP	PP
②	リヤスパッツ LH	1	MSD43-42H06-NP	PP
③	クリップナット	6	――――――	
④	ボルト	2	――――――	M6×16mm
⑤	シム	2	――――――	
⑥	PAC プライマー N210NT	1	08867-00250	
⑦	PAC プライマー K-500	1	08867-00230	
⑧	型紙 RR RH	1	――――――	
⑨	型紙 RR LH	1	――――――	
⑩	型紙 SIDE RH	1	――――――	
⑪	型紙 SIDE LH	1	――――――	

※①②の品番にはリペアパーツセット（MSD80-42H31）を含みます。

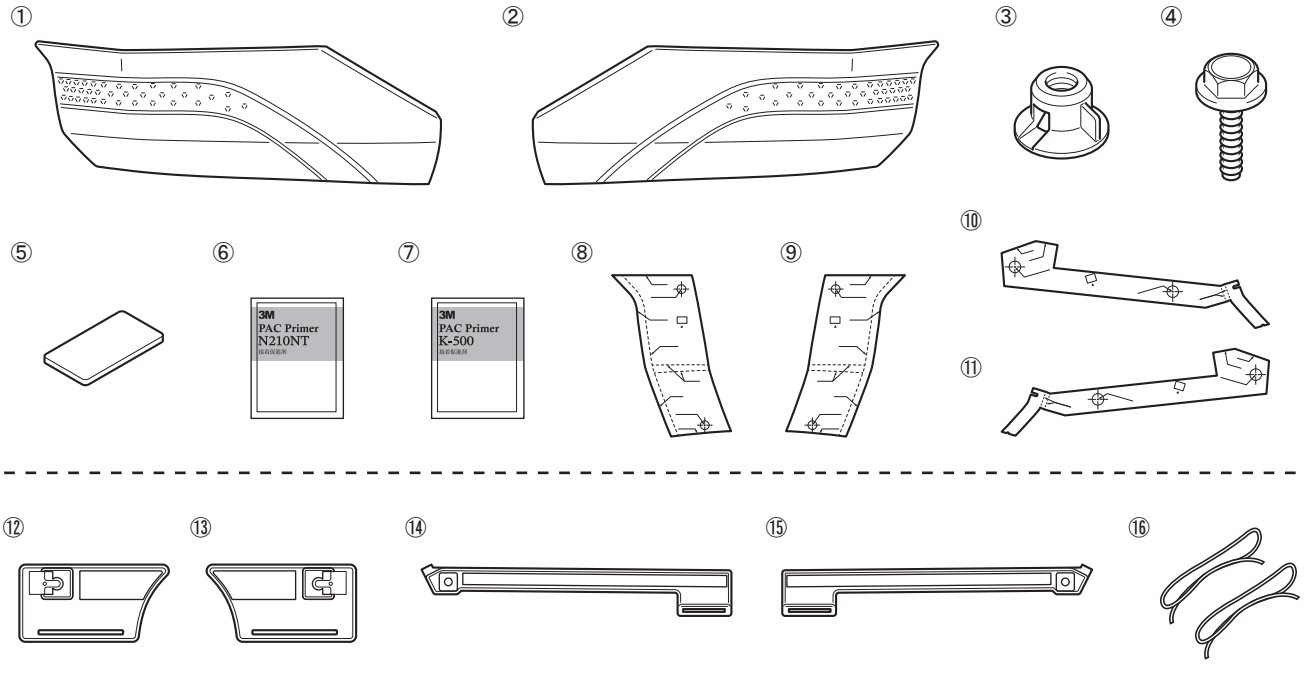
以下、MSD43-42007-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	部品名	数量	備考
⑫	リテーナー RR RH	1	
⑬	リテーナー RR LH	1	
⑭	リテーナー SIDE RH	1	
⑮	リテーナー SIDE LH	1	
⑯	エンドモール	2	黒　L=580mm

※開梱時に本体破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■構成部品図

■構成部品図



■リペアパーツセット（補給）

品番	備考
MSD80-42H31	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯及び両面テープのセット同梱

※本品は補給専用のため、MSD43-42006/7には付属しておりません。

MODELLISTA

取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、 誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、 車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

⃠ エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、傷付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行なってください。取り付け作業時の傷付きや破損に十分に注意してください。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剝がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剝がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剝がれるのでドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。

❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行なってください。

❗ 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。
（PACプライマー N210NT/K-500を本品に添付）

❗ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剝がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

MODELLISTA

■目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 …… 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ） …… 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 …… 4
4. 取付準備、取付要領 …… 5～10
5. 取付完了後の点検・注意事項 …… 10
6. 未塗装品の取り扱いについて …… 11～14
7. 補修キットの取り扱いについて …… 15

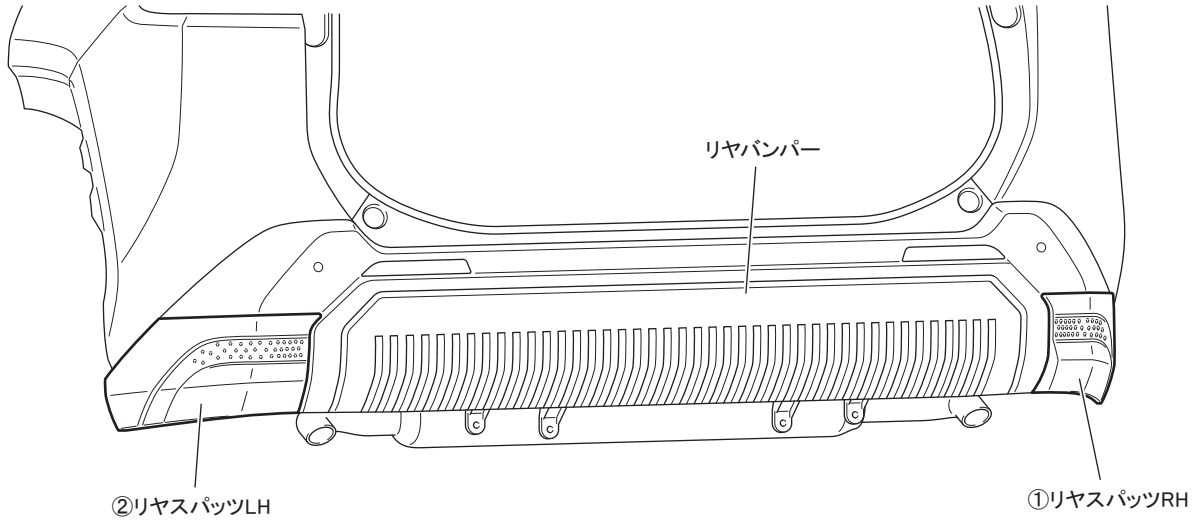
■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・軍手・防塵シート・養生テープ・ガムテープ・マスキングテープ・ヤスリ・罫書き針
・保護メガネ
・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス
・電動ドリル（刃　3mm、6mm、10mm、12mm）

■保証について

本商品は、1年・20,000 km の保証を実施いたします。
（1年または20,000 km 走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト〈 https://www.modellista.co.jp/ 〉
「保証について」をご覧ください。

■取付構成図

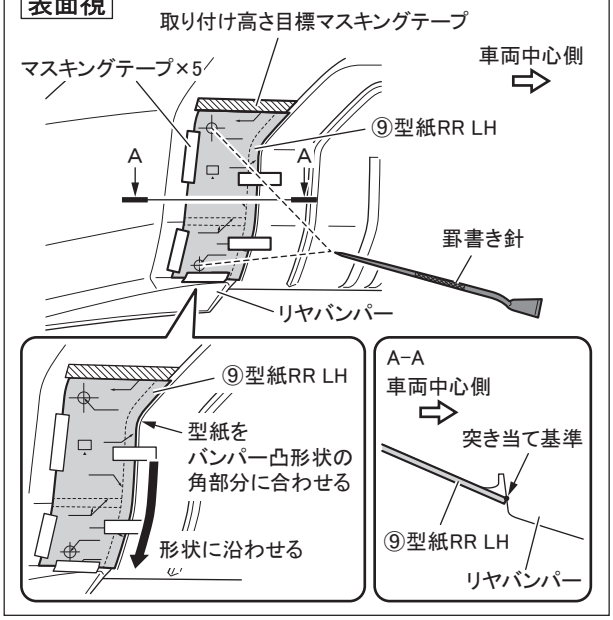


■取付準備

※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行なってください。

図1 LH図示 ※RHも同様に

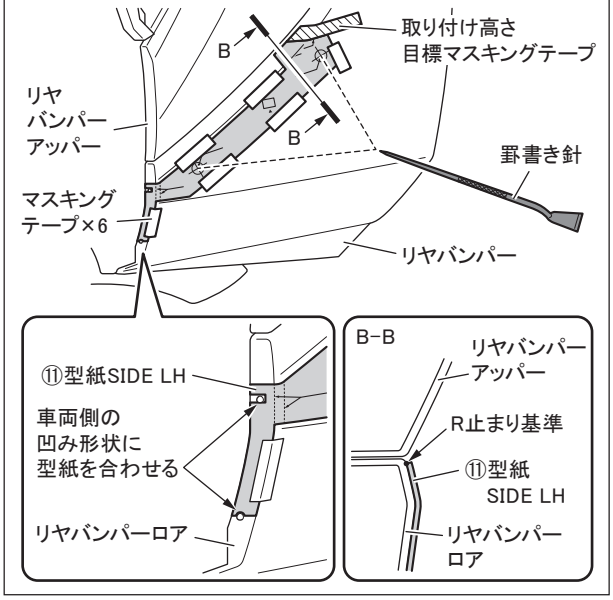
表面視



1. 図1のように⑨型紙 RR LH をバンパー凸形状の角部分に合わせマスキングテープ（5箇所）で固定し、穴あけ中心位置に罫書き針でマーキングします。
2. リヤバンパー後面に図1のように⑨型紙 RR LH の上端末に合わせて取り付け高さ目標のマスキングテープを貼り付けます。
3. ⑨型紙 RR LH を剥がします。

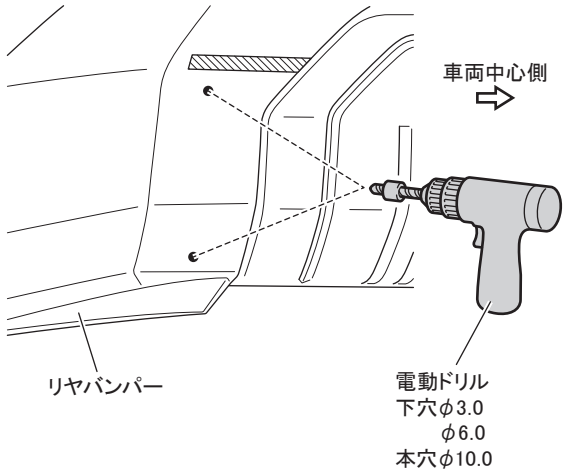
図2 LH図示 ※RHも同様に

側面視



4. 図2のようにリヤバンパー側面に、⑪型紙 SIDE LH をマスキングテープ（6箇所）で貼り付ける。穴あけ中心位置に罫書き針でマーキングします。
5. 図2のようにリヤバンパー側面に、⑪型紙 SIDE LH の上端末に合わせて取り付け高さ目標のマスキングテープを貼り付けます。
6. ⑪型紙 SIDE LH を剥がします。

図3 LH図示 ※RHも同様に
表面視



7. 図3のように罫書き針で印をつけた穴あけ位置に合わせてリヤバンパー後面に電動ドリルで下穴φ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。（左右各2箇所）
8. あけた穴のバリをヤスリで取り除いてください。

⚠ **注 意** :
- 作業時は保護メガネを着用してください。
- 穴あけ加工時、電動ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。
- 突き抜け防止の為、ドリル先端から 10mm のところにガムテープを巻き付けてください。

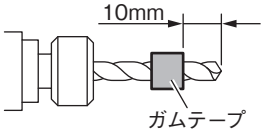
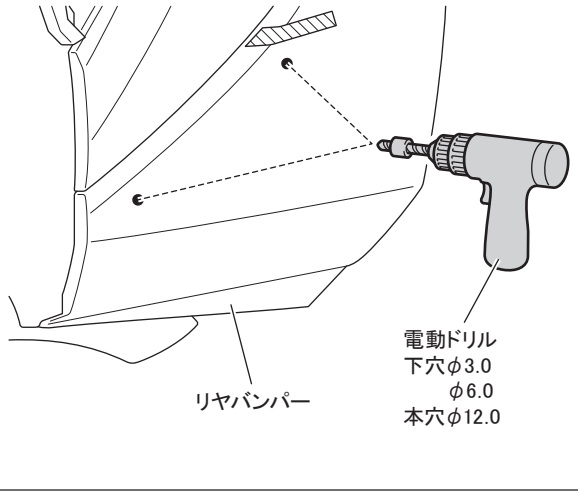


図4 LH図示 ※RHも同様に
側面視



9. 図4のように罫書き針で印をつけた穴あけ位置に合わせてリヤバンパー後面に電動ドリルで下穴φ3.0→φ6.0の順であけ、φ12.0の本穴をあける。（左右各2箇所）
10. あけた穴のバリをヤスリで取り除いてください。

⚠ **注 意** :
- 作業時は保護メガネを着用してください。
- 穴あけ加工時、電動ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。
- 突き抜け防止の為、ドリル先端から 10mm のところにガムテープを巻き付けてください。

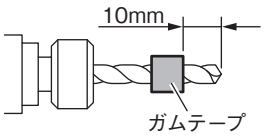
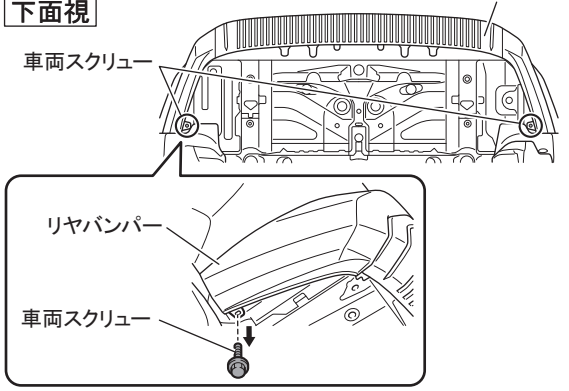


図5 LH図示 ※RHも同様に

下面視



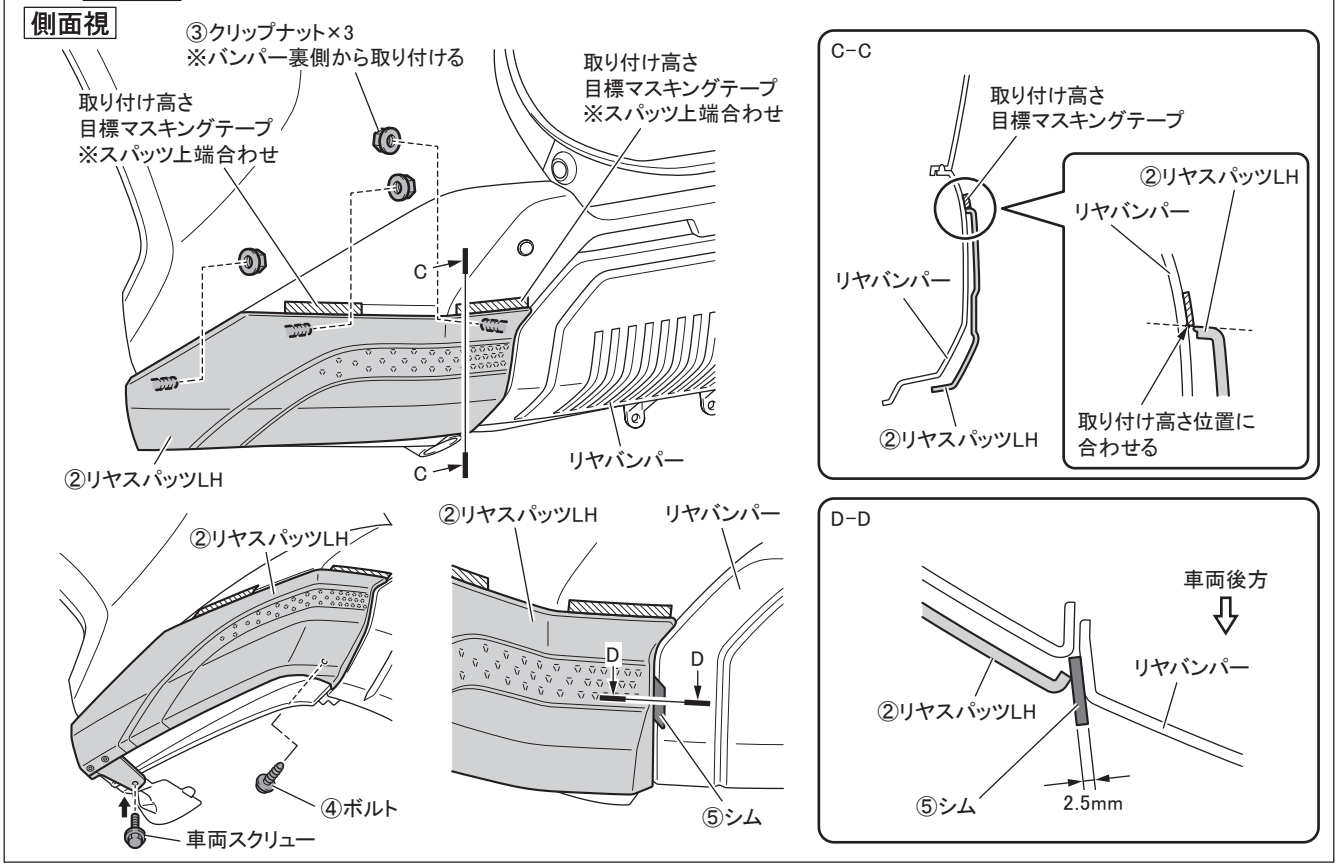
11. 図5のようにリヤバンパー下面の車両スクリュー（左右各1箇所）を取り外す。

> ⚠ **注 意** :
> 取り外した車両スクリューは再利用しますので無くさないように必ず保管してください。

12. 図6のように②リヤスパッツ LH の上端を取り付け高さ目標マスキングテープに合わせ、W 方向は⑤シムをリヤバンパー凸形状に当てて隙間を確保し、車両に仮当てする。
13. 図6のように②リヤスパッツ LH を当て、側面を③クリップナット（片側3箇所）並びに後方下面を④ボルトと車両スクリューで仮止めする。

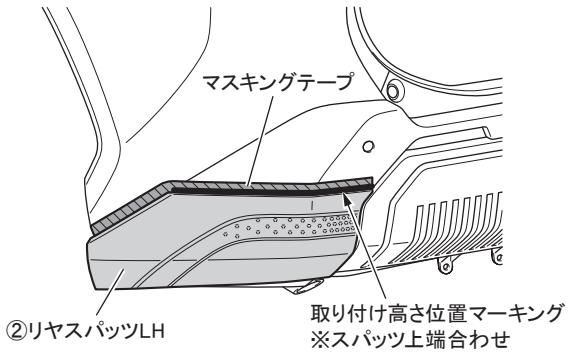
図6 LH図示 ※RHも同様に

側面視



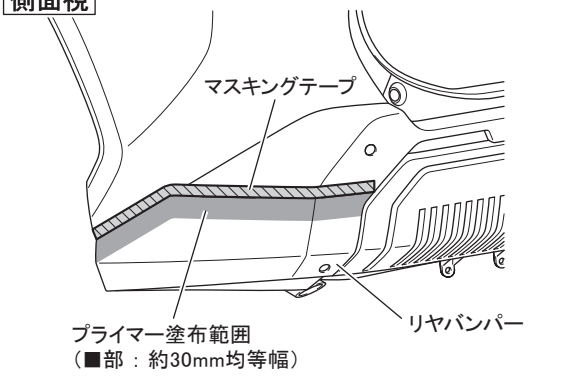
MODELLISTA

図7 LH図示 ※RHも同様に
側面視



14. 図7のように②リヤスパッツ LH 上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。
15. ②リヤスパッツ LH を取り外す。

図8 LH図示 ※RHも同様に
側面視



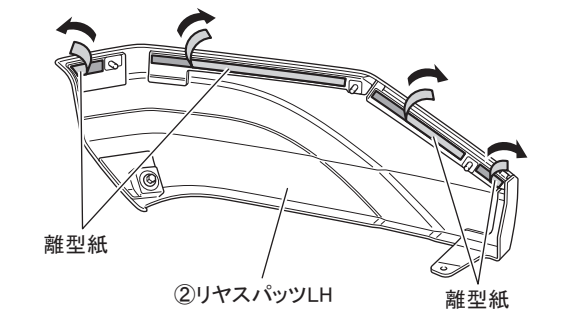
16. 図8のようにリヤバンパーのプライマー塗布範囲をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に吹いて清掃・脱脂し、PAC プライマーを塗布する。

⚠ **注 意** ：
塗装バンパー ：⑥PACプライマーN210NTを使用
無塗装バンパー：⑦ PACプライマー K-500を使用

⚠ **注 意** ：
取り付け高さ位置を示すマスキングテープは剥がさないでください。

アドバイス ：
・脱脂後は、十分に乾燥させてください。
・プライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。

図9 LH図示 ※RHも同様に
裏面視

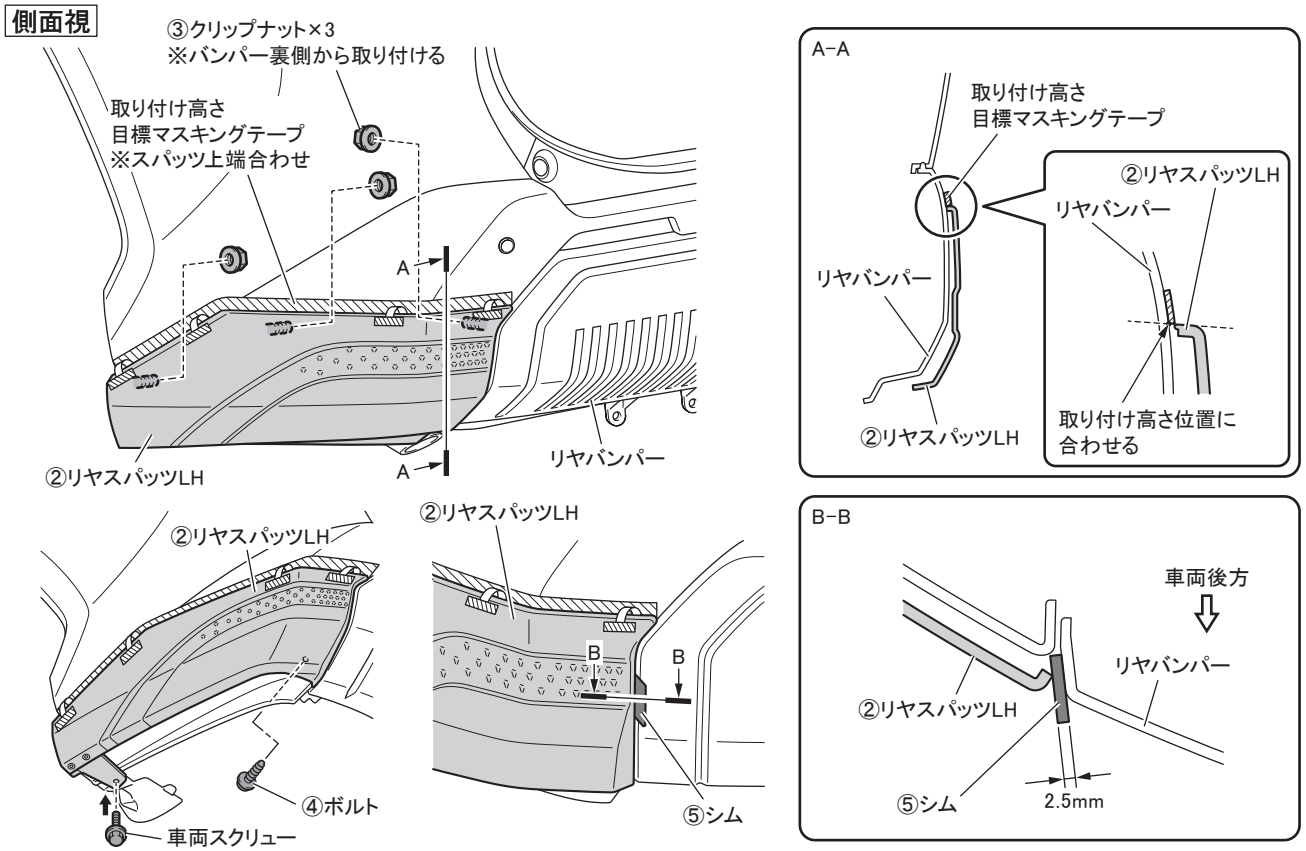


17. 図9のように②リヤスパッツ LH の離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。（左右4箇所）

□リヤスパッツ取付要領

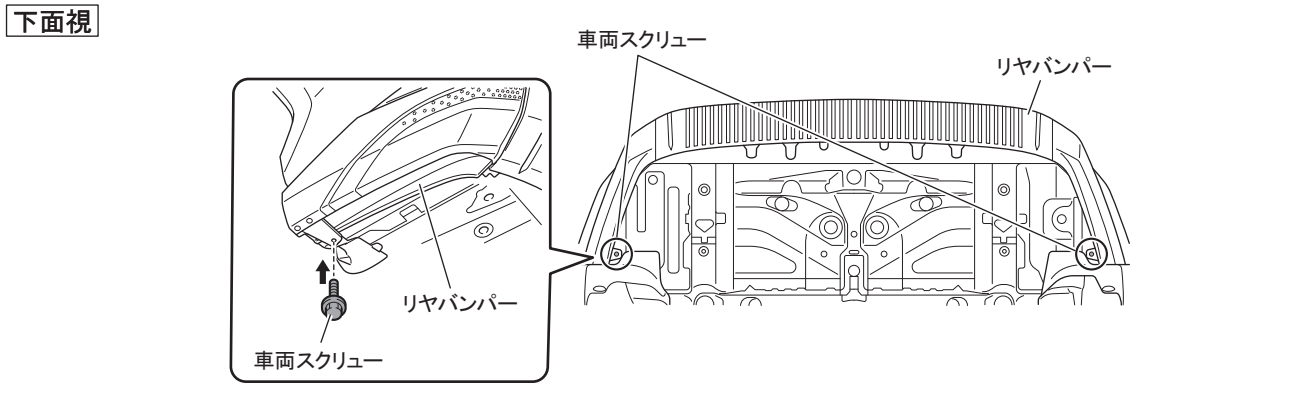
1. 図10のように、②リヤスパッツ LH の上端を取り付け高さ目標マスキングテープに合わせ、W 方向は⑤シムをリヤバンパー凸形状に当てて隙間を確保し、車両に仮当てする。
2. 図10のように②リヤスパッツ LH を当て、側面を③クリップナット（左右各3箇所）、④ボルトで仮止めする。

図10 LH図示 ※RHも同様に



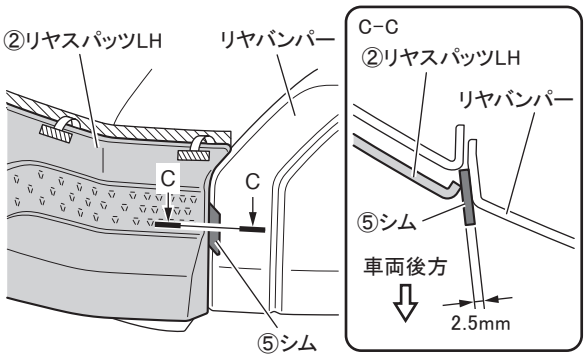
3. 図11のようにリヤバンパー下面の車両スクリュー（左右各1箇所）を仮止めする。

図11 LH図示 ※RHも同様に



MODELLISTA

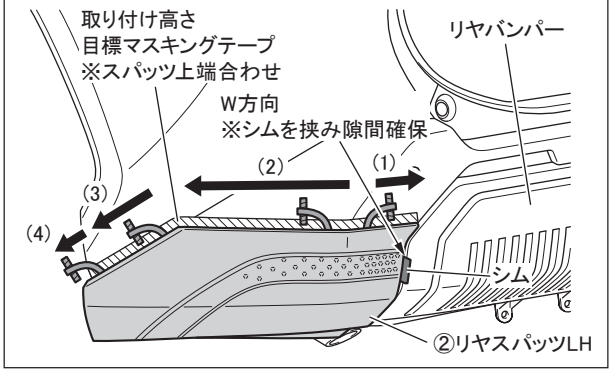
図12 LH図示 ※RHも同様に



4. 図12の位置に、リヤバンパー凸形状とスパッツの間に⑤シムを挟み隙間を再調整する。

図13 LH図示 ※RHも同様に

側面視



5. 図13のように②リヤスパッツ LH の上端を取り付け高さ目標マスキングテープに合わせ、W 方向は⑤シムをリヤバンパー凸形状に当てて隙間を確保し、離型紙(1)～(4)の順に矢印の向きに引き抜きながら49N(5kgf) 程度の力で圧着する。

⚠ **注 意** :
離型紙及びピックテープが途中で切れないようにリヤスパッツを少し浮かしながら離型紙を引き抜いてください。

6. 側面の③クリップナット（左右各3箇所）下面 RR 側④ボルト、前方下面の車両スクリューを固定する。
7. ②リヤスパッツ LH の浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け部を再圧着する。

□復元

1. 車両に貼り付けたマスキングテープを全て剥がし、挟んだシムを取り外す。
2. 取り付けがしっかりと行なわれているかを確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

⚠ **注 意** :
・両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
・商品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

アドバイス :
・両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落等の重大な不具合が発生する可能性があります。
・両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
2. 車両及びリヤスパッツ周りに傷が付いていないことを確認してください。
3. 本取付に伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD43-42007-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

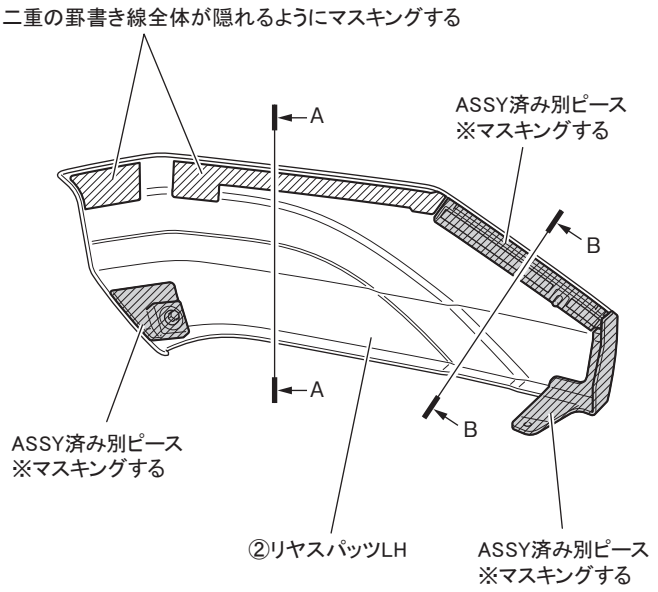
⚠ **注 意** :
・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

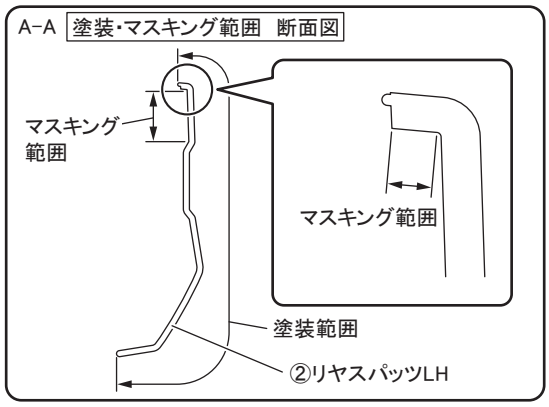
※本取付・取扱要領書は、主に LH 側を示しており、RH 側も同様に行ってください。

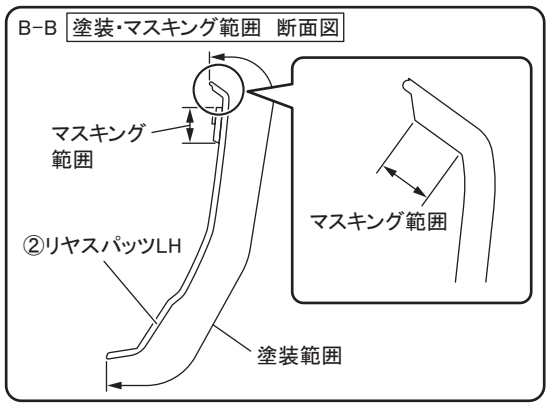
□リヤスパッツの塗装

1. 図14のように②リヤスパッツ LH を車体色で塗装する。

図14 LH図示 ※RHも同様に
裏面視







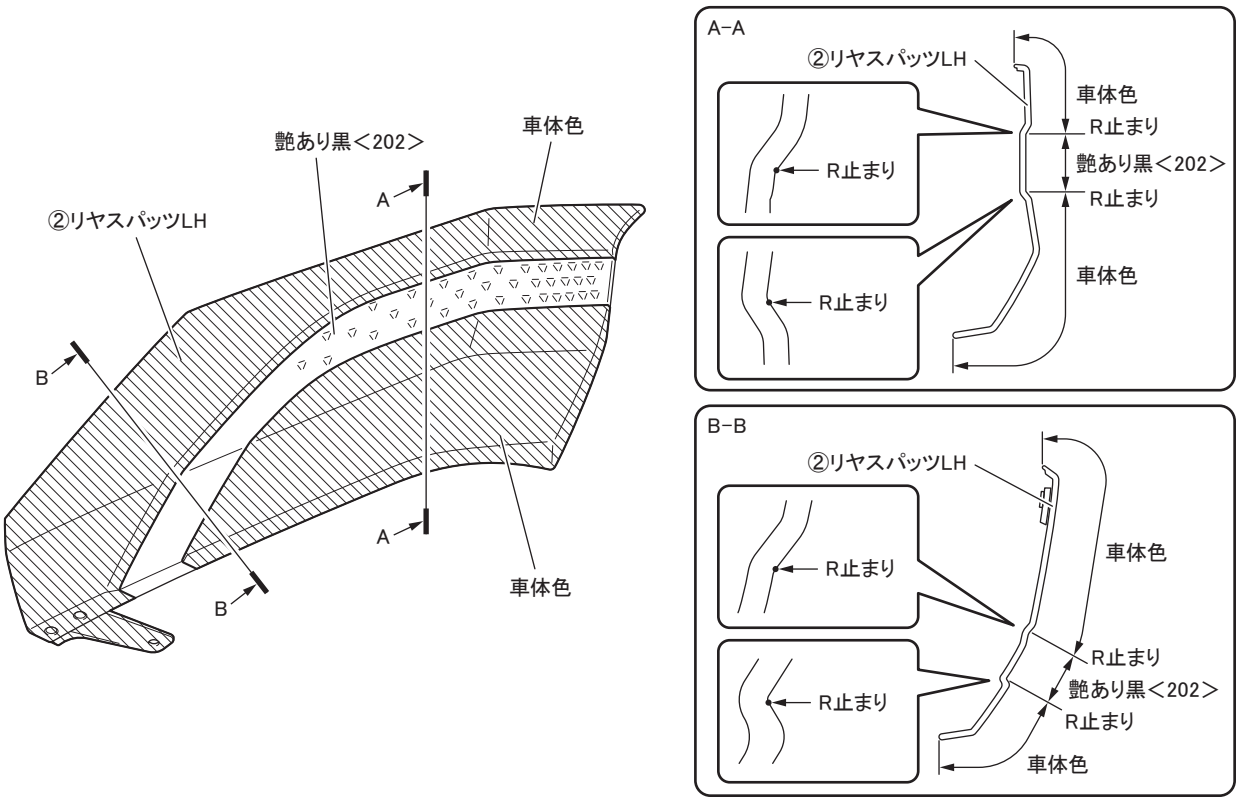
⚠ **注 意** :
・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
・②リヤスパッツ LH の ASSY 済み別ピースは塗装がかからないようにマスキングしてください。

2. 塗装面の汚れ、ゴミ、ほこりをウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行なう。
3. プライマーサーフェサー塗装を行なう。（本製品の素材は >PP< です）
4. 上塗り塗装を行なう。
5. 乾燥を行なう。

ロツートン塗装

1. 図15のように②リヤスパッツ LH の斜線部をマスキングし、艶あり黒＜202＞で塗装する。

図15 LH図示 ※RHも同様に



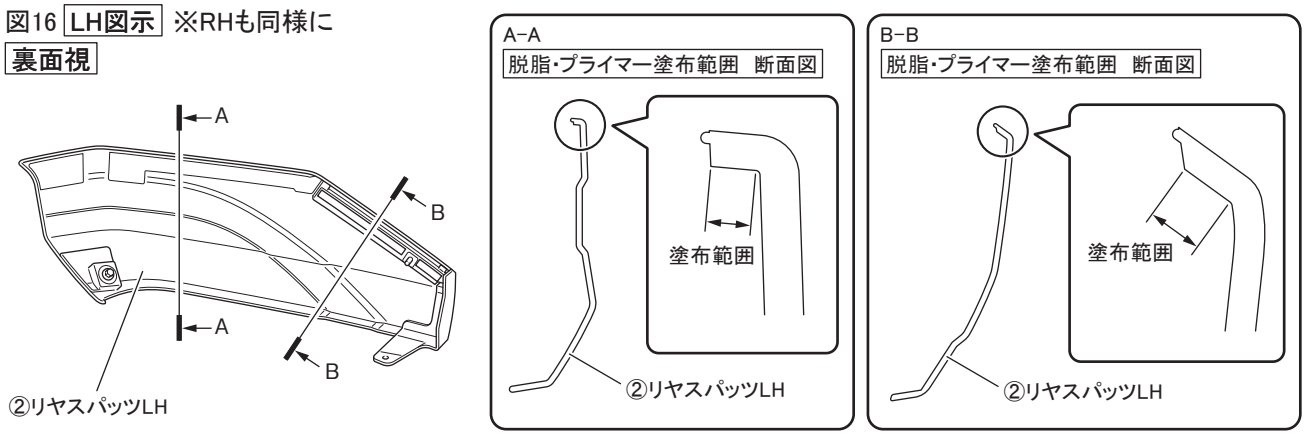
⚠ **注 意** :
乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

2. 塗装面の汚れ、ゴミ、ほこりをウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行なう。
3. プライマーサーフェサー塗装を行なう。（本製品の素材は >PP< です）
4. 上塗り塗装を行なう。
5. 乾燥を行なう。

□エンドモールの貼り付け

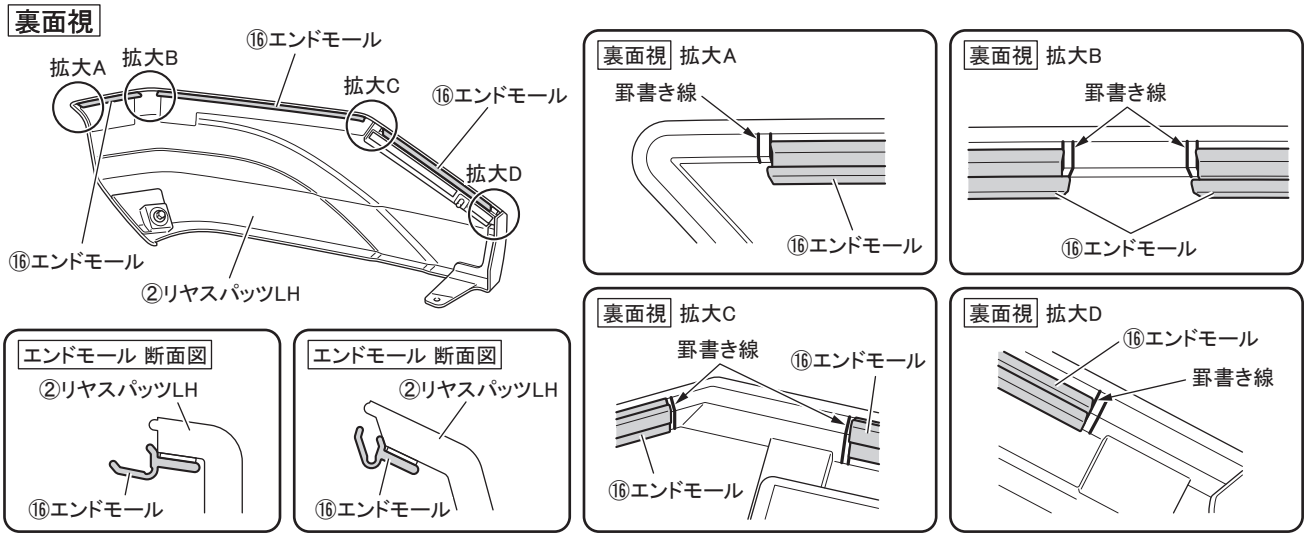
1. 図16のようにモール貼付部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、モール貼り付け部のみ⑦ PAC プライマー K-500を塗布する。

図16 LH図示 ※RHも同様に



2. 図17のように⑯エンドモールの両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け圧着する。

図17 LH図示 ※RHも同様に



⚠ **注 意** :
- 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。
- 両面テープの接着力を最大限発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び製品の貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

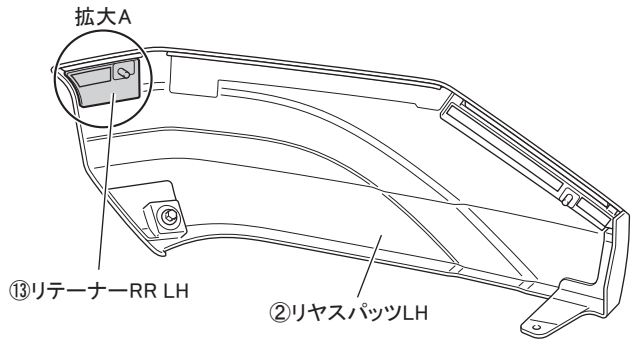
アドバイス :
- 脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。
- PAC プライマー K-500はリヤスパッツ取り付け時に再使用します。
  揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。
- モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

□リテーナーの取り付け

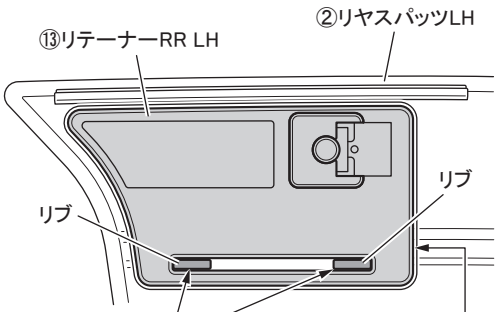
1. ②リヤスパッツ LH 裏面の二重罫書き線内を脱脂し、⑦ PAC プライマー K-500を塗布する。
2. 図18のように②リヤスパッツ LH のリブに⑬リテーナー RR LH の開口部を合わせ、②リヤスパッツ LH の裏面罫書きの内側に合わせて貼り付け、49N(5kgf) 程度の力で圧着する。

図18 LH図示 ※RHも同様に

裏面視



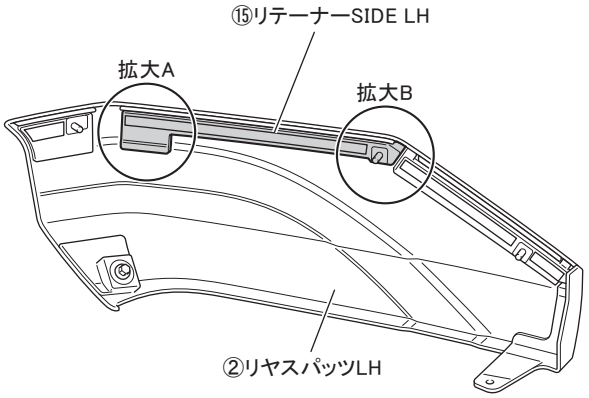
裏面視 拡大A



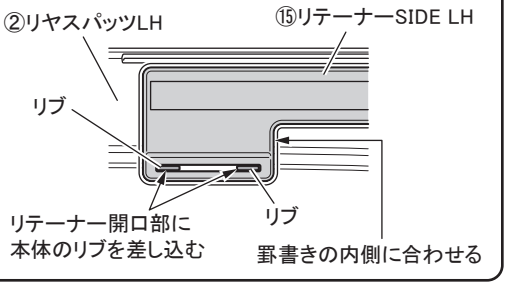
3. 図19のように②リヤスパッツ LH の端末に⑮リテーナー SIDE LH の FR 側端末を押し付け、②リヤスパッツ LH のリブに⑮リテーナー SIDE LH の開口部を合わせて、②リヤスパッツ LH の裏面罫書きの内側に合わせて貼り付ける。

図19 LH図示 ※RHも同様に

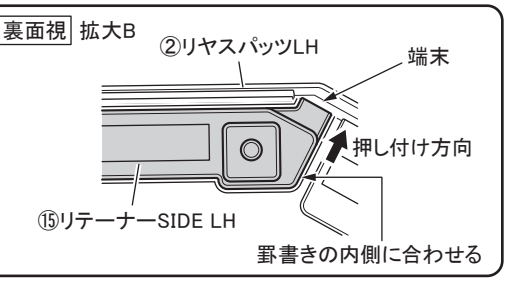
裏面視



裏面視 拡大A



裏面視 拡大B

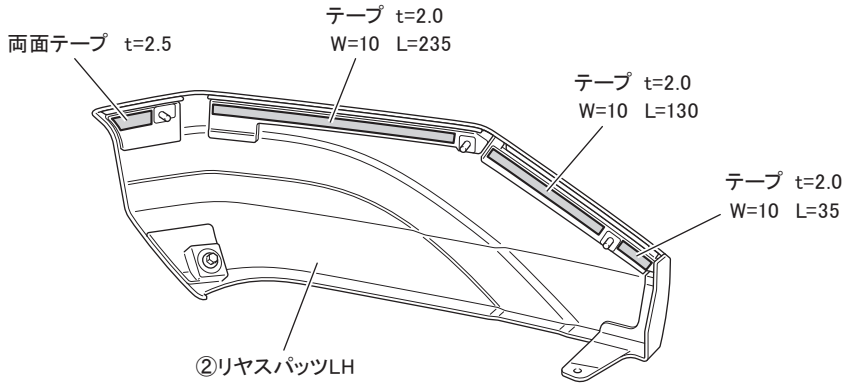


■補修キットの取り扱いについて

□補修キット 両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して②リヤスパッツ LH の再取り付けを行なう際は、図20のように両面テープを選択し貼り付ける。

図20

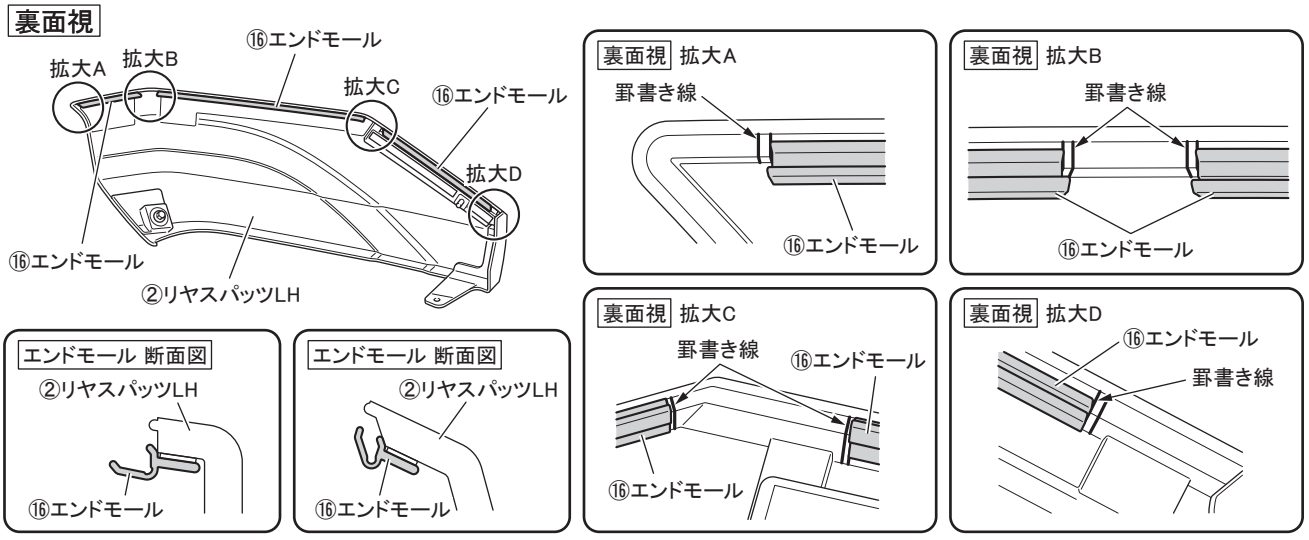


⚠ **注 意** :
両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマーを塗布する。

□補修キット エンドモールの貼り付け

1. 補修キットを使用して②リヤスパッツ LH の再取り付けを行なう際は、図21のように⑯エンドモールを選択し貼り付ける。

図21 LH図示 ※RHも同様に



アドバイス :
・モールを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマーを塗布する。
・モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
モデリスタ 商品問い合わせ窓口
TEL : 050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/